

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

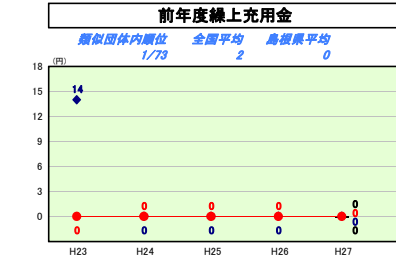
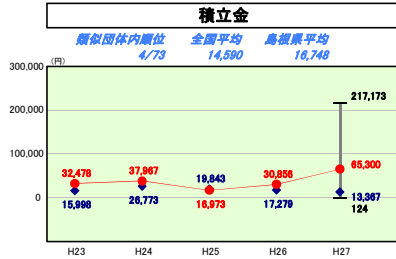
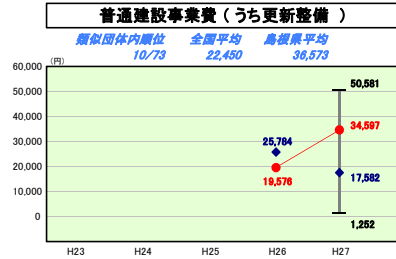
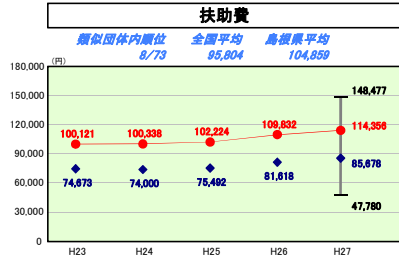
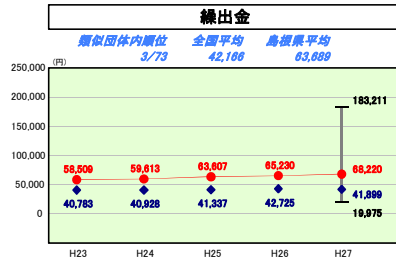
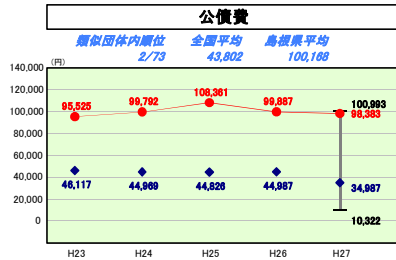
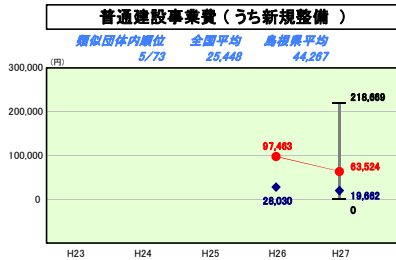
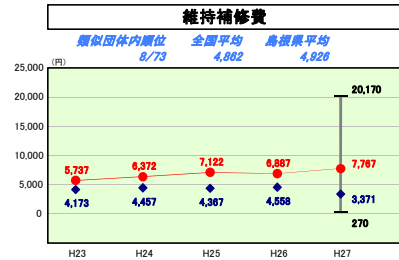
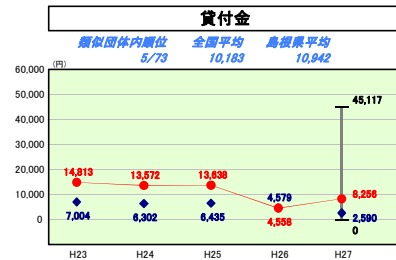
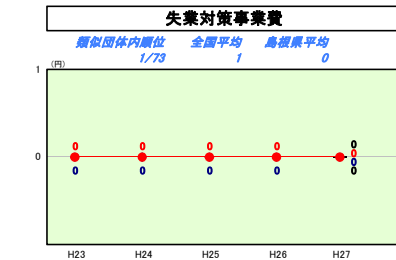
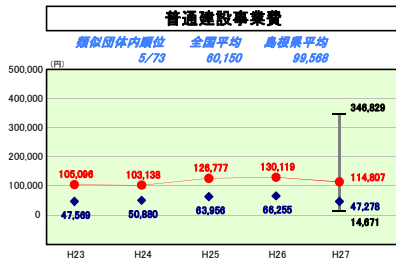
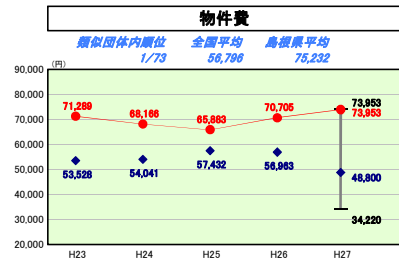
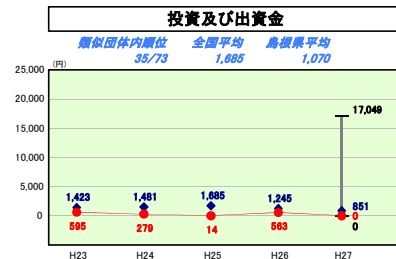
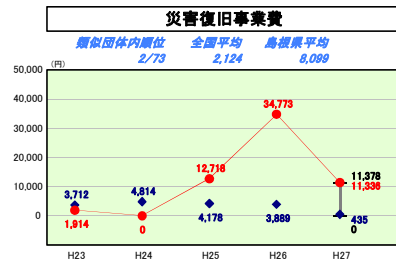
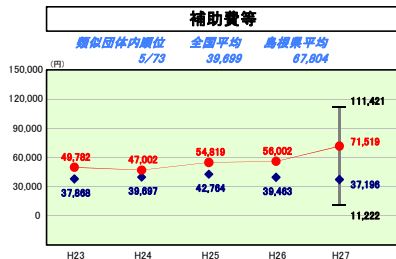
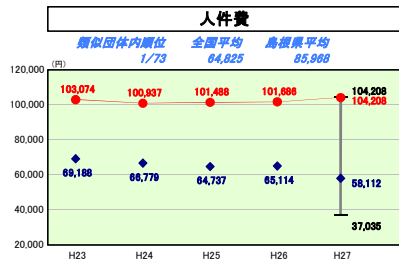
平成27年度

鳥根県浜田市

人口	56,730	人(H28.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	56,146	人(H28.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	690.66	km ²	実収公債費比率	10.6	%
歳入総額	42,521,030	千円	実収負担比率	93.1	%
歳出総額	41,872,771	千円	市町村類型	H23 II-1 H24 II-1 H25 II-1	
実収支	626,822	千円	(年度毎)	H26 II-1 H27 II-3	
標準財政規模	20,720,165	千円			
地方債現在高	56,016,801	千円			

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

○歳出決算総額は、住民一人当たり798千円となっている。主な構成項目である普通建設事業費は、住民一人当たり118千円となっており、高い水準となっている。これは27年度までに集中的に投資を行うことによる影響が表れたためである。今後は公共施設等総合管理計画や中期財政計画に基づいた、「集中と選択」をテーマとした事業実施に努める必要がある。
○人件費は住民一人当たり104千円となっており、類似団体と比較して一人当たりコストが高い状況となっている。これは、給与水準(オスプレイス指数)は類似団体と比較して下回っている等の、職員数が類似団体と比較して多いことが要因となっている。今後は引続き「定員適正化計画」に基づく職員数の削減を進めることとしている。
○物件費・補助費等は住民一人当たりそれぞれ74千円・72千円となっており、類似団体と比較して一人当たりコストが高い状況となっている。これらについては、27年度までに類似団体平均並みに引き下げる方針であったため、更なる行政改革実施計画の推進が必要である。
○災害復旧事業費は住民一人当たり11千円となっており、類似団体と比較して一人当たりコストが高い状況となっている。これは25年8月に発生した豪雨災害等の復旧工事によるもので、今後は類似団体並みに縮減する見込である。
○公債費は住民一人あたり98千円となっており、類似団体と比較して一人当たりコストが高い状況となっている。これは、繰上償還の実施や27年度までを集中投資期間として建設事業等を行ったことが原因となっているが、交付税算入の手厚い繰上償還や合併特例債の借入を行うなどして、財政状況の健全化に努めている。
○積立金は住民一人あたり65千円となっており、類似団体と比較して一人当たりコストが高い状況となっている。これはふるさと寄附金の増加に伴うふるさと応援基金への積立金の増加が原因となっており、今後も高い水準で推移していくと見込まれる。